

令和6年度 第5回 平戸市総合戦略推進委員会 会 議 録

と き：令和7年2月5日（水）10：15～12：00
ところ：平戸市役所4階第2委員会室

開催日時	令和7年2月5日（水） 10:15～12:00
開催場所	平戸市役所4階 第2委員会室
出席委員 (50音順、敬称略)	赤木明子、木田真弓、坂元洋一郎(WEB)、田口増巳(WEB)、辻俊郎、 原田和寛、福田章、松田隆也、松山恵美(WEB)、松山芳弘(10名) ※雪による凍結等のため、一部WEB参加
欠席委員 (50音順、敬称略)	井芹裕貴、小楠長己、柿野朋之、松崎利恵子、山中兵恵(5名)
事務局 (財務部企画課)	梶田財務部長、藤山企画課長、塚本参事兼政策企画班長、作江主任 主事
次第	
1 開会	
2 会長 あいさつ	坂元会長 ※WEB参加の都合上、議長を副会長(松田委員)へ交代
3 議題 (1)第3期平戸市 総合戦略素案に ついて 委員 事務局 委員 事務局	(資料1に沿って事務局説明) ●質疑・意見等 マスタープランに合わせるため3年間となっていると思う。1・2 期は5年であったが何か違いを記載しなくて良いか。 後期総合計画に合わせるため3年間としている。書き方は事務局で 検討させてほしい。第4期総合戦略は、総合計画に包含したいと思っ ているが未確定である。 SDGsとの関連はこれまでは無かったため、取り入れた経緯を入れて はどうか。 第3期総合戦略を作る際、総合計画を基にしたため、アイコンを記 載しつつ意識醸成を図ることを目的とした。「総合計画と連動する」と

	いう文言を入れるかどうか、事務局に一任していただければと思う。
委 員	P 7 基本目標 1 雇用の促進 基本的方向について、経済的安定を求めることはわかるが、移住定住や子育ての記載があるため、3 の子育てや4 の定住・移住のことになるので、ここに記載があるのはどうなのか？
事務局	おっしゃるとおりであるので、雇用の促進に即した記載となるよう事務局で修正する。
委 員	P 7 基本目標 2 産業の振興 基本的方向について、「観光資源を基礎として」は「6 次産業として」ではどうか？
事務局	商工担当部局と調整する。
委 員	P 11 「高齢者の就労を促進するため」とあるが、現代としては女性目線で「女性の就労」という文言も取り入れてはどうか。P 12 の具体的な政策のところについても女性の参画など取り入れてはどうかと思われる。
事務局	女性の就労環境については、P 13 イ) 就労環境の整備の 2 つ目になると思われるが、女性もそうだが男性の部分もあることから、事務局で検討させてほしい。
委 員	KPI は R 5 基準値と R 9 目標値があるが、例えば P 14 年間総業者数は単年なのか 3 年間なのか説明が必要ではないか。
事務局	説明を入れるようにする。
委 員	商工関係の KPI 実績について、市の事業を使っていない創業者もいるため、関係団体への聞き取りも必要ではないか？（実際のところ商

	工会議所には実績を聞かれていない。) 関係団体と打ち合わせや会議をしないと、実態に近い数字は出てこないと思う。
事務局	前期計画を作る際は関係団体と協議し連携をとっていた。後期計画策定時は携わっていないが、今後第3次総合計画の策定の際などは気を付けたい。
委員	この数値が独り歩きしても困るため、根拠の確認は必要。担当者感覚等では困るため整理してほしい。
委員	創業や新規企業支援の記載はあるが、やる気のある既存の事業者に対しては支援しますよと、情報提供も併せて行ってほしい。
事務局	情報提供に努める。
委員	働き方について、ダブルワークなど隙間時間を使いながらできる仕事、ハローワークと協力する等状況に応じた働き方ができるような仕事を探せる情報提供の仕方が必要。皆さん仕事を共働きでしていて、仕事を探していない人はほとんどいない。タイミーもあるが、直前にキャンセル出来たりもするため、雇用する側としては難しいところもある。季節的就労など、企業とヒアリングしながらマッチングができれば良いと思う。
委員	副業が一般的になってきている。賃金が上がりすぎており、都会との差が開いてきている。4月にさかのぼって昇給したら、半額補助すると県から連絡があっている。賃金の面も考慮しておいてもらいたい。
委員	P11 雇用をしたくても人手が足りていない既存の企業もある。外国人材の雇用についての支援を記載しても良いのでは？
事務局	一部事例が出て来ているが、具体的な施策について、記載にまで至

	っていない。総合戦略については、委員の皆さんの了承が取れば変更できるものなので、今後外国人労働者の方向性が見えた時に盛り込んでいいかと思う。ちなみに、支援というのは補助金のことを言われているのか？
委 員	そもそも、外国人労働者を雇いたい事業者があった時に、手法や窓口がわからない。
委 員	県の「N」がある。研修を自治体で行うまでは厳しいが、専門の機関との連携は必要。
委 員	就労ビザがとれるかどうかが問題であり、専門の仲介業者の関与が必要。
委 員	P 12「高齢者の」→女性や外国人など多様な就労者の文言にしてはどうか。
事務局	事務局で調整させてほしい。
委 員	生月にインドネシアの人たちがいるが、人口に含まれるのか？地元の市民との交流会は行われているのか？
委 員	今回（山田・舘浦まちづくり協議会が開催）が初めて。特化したものではないが、日頃から地元のイベントに参加してくれている。
委 員	P 23 市内高校への進学率はこのテーマでの KPI なのか？。
事務局	P 22 にふるさと教育等を記載しているため、この KPI としている。
委 員	P 20 学生インターンは大学生のこと？高校生も含めてという表現ではどうか？

事務局	市の人事課では大学生や離島高校を対象にしており、大学生に限ってはいないので表現は調整する。
委員	P21 エ地域ブランドの推進の方策に「6次産業化」を盛り込んではいかがでしょうか？
事務局	担当課と調整をする。
委員	P21 2つのKPIの根拠がわかりにくい。2つ目●の記載について、アンテナショップの役割や活用方法をもう少し濃くしてはどうか。
事務局	担当課と調整を行う。
委員	アルベルゴ・ディフーズタウンをまだ知らない人が多いんじゃないかと思うため、説明を具体的に載せてみては？
事務局	一つを載せ始めるとほかの事業にも影響が出てくるため、説明会など周知啓発等は観光課にお願いしたいと思っている。今年5月に大々的なオープニングイベントを行う予定。
委員	P26 部活動の地域移行について、保護者としては子どもたちがスポーツできる環境が無くなると不安に思う家庭が多い。家族ごと市外に出ていくようなことも考えられる。
委員	地域移行に向けた専門のコーディネーターを雇う予定としている。
委員	実際、スポーツに限らず家族ごと市外に移り住む家庭も増えてきている。
委員	語学教育を推進するというの具体的な方向性は？英語の力が落ち

	ており、中学間の格差が大きい。教員の質の向上が必要と思われる。 イングリッシュタウン事業の内容はどのようなものか？
事務局	イングリッシュキャンプという、夏休みに小・中学生を集めて、英語教員のサポートを含めて一日中、英語で話して過ごしましょうということをしたり、スピーチコンテストを実施している。
委 員	英語に触れる環境を充実させるというのは有効なことだと思うし、高校生で入ってくる生徒を見ていると、小・中学校でだいぶ苦勞しているのだろうなということを感じられる。市を挙げて、平戸市の子供は中学校卒業する前には英検３級をほぼ皆取得しているとなると、かなりいい状況になると思う。どこからも求められる力になってくるため、学校の方も協力しながら力をつけていきたいと思っており、国際人を育てるレベルまでいければ、今の観光宿泊業の人たちもそういう人材が欲しいはず。
委 員	子どもがどうやって英語を勉強しているかと思ったら、結構アプリを使っている様子。子供たちのスマホ利用をどうしようか悩んでいるところを、ゲーム感覚で人に頼ることなく役立つのではないかな。
委 員	せっかくの ICT 環境があるのであれば、悪天候時のリモート授業や不登校児童も自宅から参加できるような環境も作ることが出来るのではないかな？
委 員	P24 合計特殊出生率 R 5実績の 1.67 から考えるとR 9 目標値の 2.40 高すぎるのではないかな？通院費の助成額など KPI を見直してもいいのではないかな？
事務局	合計特殊出生率については、人口ビジョンの算定基礎に合わせている。R 5 実績は実際R 3 の出生率になるため、たまたま落ち込んだ時の数値であり、R 4 は 2.04 に回復している。また、安心出産支援事業

	の助成額を KPI にしてはどうかとのことであるが、予算額と連動した数値になるため、KPI として設定することは難しい。
委 員	P28 R 5・249 件/年に対し、R 9・170 件/年の減少した数値にしなければいけないのか？U・I ターンを促進するための周知啓発事業も記載すべきではないか？
事務局	現状の 249 件/年というのがコロナ禍明けの反動で上がりすぎていると思われる。補足の記載が必要かもしれない。周知啓発は定住促進対策事業に含まれている。
委 員	P29 現実的なところ、特別養護老人ホーム等に空きが無く受け入れてもらえない。誰かが亡くなったら入るというような流れ。介護のため仕事を辞めることも今後増えてくると思う。
事務局	担当課にも情報共有する。
委 員	街灯が少ないため暗く、夜のゴミ出しや、女性社員が夜道も一人で歩けないと言っている。慣れている皆さんは普通と思われるかもしれないが、移住定住で女性を増やしたいなら、女性に優しいまちづくりも必要では。
委 員	本日または意見書における委員からの意見に伴う第 3 期素案の修正等については、最終的に事務局に一任するということとし、本日事務局から説明された内容で了承することで決定をさせていただきます
(2) 第 3 期平戸市 総合戦略策定に 係る今後のスケ ジュールについ て	(資料 2 に沿って事務局説明) ●質疑・意見等

委 員 事務局	16 番の平戸市ずっと住みたいまち創出本部会議とはどういう形の会議か？ 部長級を中心とした庁内の会議である。
4 開会	(梶田財務部長あいさつ)